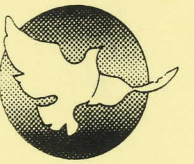


始學朗誦



真傳協会

一、我々勝徳によつて相學ぶ。一齋先生曰く、少くして學べば壯にして為すあり。壯にして學べば老いて衰へず。老いて學べば死して朽ちず。

（志壽し）

（志壽し）

二、松陰先生曰く、道は刻々高し、美し、約なり、近なり。人徒其の高く且つ美しきを見ても以て及ぶ可からずと為し、而も其の約にして且つ近く、甚だ親しむ可きことを知るるなり。

（辨玉別記・序）

三、易に曰く、乾は元いに亨る、貞しきに利るし。又行健なり、君子自ら強めて息まず。

（易經・乾為天）

四、子曰く、我に教年を加え、五中にして以て易を學べば、（以て易を學ぶことを率えしめば）大なる過ら無かるべし。

（論語・述而）

五、松陰先生曰く、徳を成し材を達するには、師の恩、友の益多きに居る。故に君子は交遊を慎しむ。

（士規七則）